

阪神淡路大震災発生から 30 年となる 1 月 17 日を迎えました。各学級では担任の先生を中心として様々なお話をしていただいたと思います。命の尊さや生きるということについて、そして、震災から得られる教訓や防災についてなど。そして、私たちが担う大切なこととして、「忘れないこと」と「伝えること」。ひとつの震災だけにとどまらず、毎年のように災害に見舞われる日本。数々の痛ましい出来事そのものと教訓を忘れることなく、次の世代へと伝えていかなければなりません。

今を生きている私たちにできることのひとつとして、目の前の挑戦すべき目標に全力でぶつかっていくことがあると思います。衣食住に大きな不安を持つことなく、目の前の目標だけに集中して取り組むことができる。私たちの環境は当たり前のように整えられているのではなく、感謝を忘れずに生かしていくものだということを常に心にとどめながら、一歩ずつ進んでいこうではありませんか。

◇ 1 年生で職業講演会（2 日目）を実施しました

1 月 17 日に続き、24 日に職業講演会を実施しました。2 日目は、様々な職種で働いている方々をお招きして、仕事についてお話を聞かせていただきました。



生駒市消防本部



トキワスタジオ（写真）



株式会社トンボ（制服）



大教大天文学研究室＜オンライン＞



株式会社 JTB（旅行）



はかせ鍼灸堂

◇ 薬物乱用防止教室を開催しました

1 月 29 日（水）、2 年生を対象として、薬物乱用防止教室を開催しました。学校薬剤師の川崎先生を講師としてお招きし、危険な薬について詳しく教えていただきました。薬は本来、私たちの体によい働きをするものですが、間違った使い方をする害にしかならず、人生を狂わせてしまうかもしれないことを学びました。自分には関係ないことと思わず、正しい知識を持つことが大切です。

◇ 幼稚園との交流イベントをしました。

1 月 29 日(水)、認定こども園生駒幼稚園の園児のみなさんが緑中に来て、中学生と一緒にグラウンドで凧揚げと鬼ごっこをしました。昨年に引き続き、2 回目の実施となりました。園児と生徒との直接の交流が叶ったことで、大変充実した取組となりました。



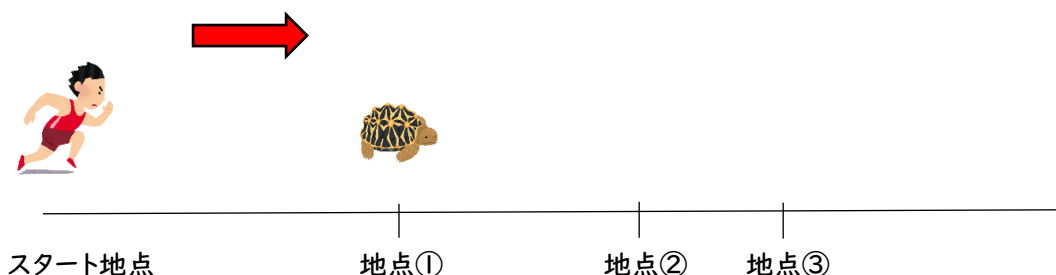
break time

パラドックスについて②

前回のパラドックスはいかがでしたか。頭が混乱しなかったでしょうか。いろんな人の中の議論としてパラドックスもあるわけですが、今回は運動のパラドックスです。

古代ギリシャの自然哲学者ゼノンという人が示したパラドックスとして、「アキレスと亀」という有名なものがありますので紹介します。

あるところに、とても足の速いアキレスという人がいました。このアキレスと足の遅い亀がかけっこ勝負をすることになりました。そのままでは勝負になりませんので、アキレスは亀にハンデをあげることにしました。同じ場所からスタートするのではなく、亀はいくらか進んだところからスタートするというものです。



上の図のように、亀はハンデとして地点①からスタートします。スタート後、アキレスが地点①に着いたときには、亀はアキレスが来るまでの時間分だけ先に進み、例えば地点②にいます。そして、アキレスが今度は地点②に着いたときには、亀はまたその時間分だけ先へ進み、地点③にいます。同じようにして、アキレスが地点③に着いたときには、亀はさらにその先に進んでいます。

この考えはいくらでも続くので、結局アキレスは永久に亀に追いつけないことになります!?